



↑「干し柿」のオイシイこと！

# ブラジリアの風



↑日本人会館での書道教室「平和」

## 荒野に水が湧き出す

「わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。」ヨハネ4:14

新年度を迎えている日本の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。日頃のお祈りと尊いご支援を心から感謝申し上げます。ブラジリアは秋に入り、教会の永田兄の農園でたくさんのカキをいただければ「干し柿」にして家族みんなでいただいています。

2月下旬から始まったウクライナでの戦争を機に、日本でも物価高で生活の不安が増しているのではないのでしょうか。ブラジルもガソリンの高騰、インフレが進み、あらゆる物が値上がり。「円安リアル高」は我が家の家計を直撃…超節約モードで生活しています。戦禍にあるウクライナの人々を思いつつ、停戦と和解の道が開かれることを祈らずにはられません。

さて、祈り備えてきたヴァルゼンボニータでの礼拝をまずは月一回ペースで3月20日から開始しました（下記写真）。吉田家族宅を会場に老若男女27名が集い主の深い導きと臨在を覚える時となりました。地元住民は吉田家4名を含む11名でしたが、主は飢え渴いた人々をご自身のもとへと導いてくださいました。

この日はヨハネ福音書4章からメッセージ。喉の渇きを覚えて水を求めるイエスと、心の渇きを抱えてイエスに目が開かれていくサマリアの女。過去を含めた自分のすべてが神に知られているという「安心感」から、女はイエスに近づけられ、その心に湧き上がる泉をいただきました。この礼拝に導かれた一人ひとりもまた、苦い過去の経験を抱えながら主の憐れみと救いを求めて来られたのではないかと…そう思うと、いよいよとりなし祈らなければとの思いを強く抱きました。



約40の日系家族が住むと言われる農村ヴァルゼンボニータに主の教会が生まれ、すべてのご家庭とその一人ひとりに「永遠のいのちへの水」が湧き出し、この地が主の豊かな祝福で覆われていくようにと祈られています。引き続きお祈りください。

### 【近況と祈りの課題】

・ヴァルゼンボニータ（開拓中の村）：脳梗塞で入院していた前添光徳さんは2月初旬84歳で召天。残された奥さま晶子さんに主の慰めを。幸い娘さんとお孫さんが書道教室と礼拝に来ています。毎月の礼拝の祝福をお祈りください。

・訪問伝道：90歳の上野さんが明確な信仰告白に至るよう。その他高齢の一世の方々信仰に導かれるように。

・教会の日本語学校：今学期は20名の生徒を担当。誠実にクラスを導き、福音を証しし生徒が教会に繋がるように。

・ブラジル情勢：10月の大統領選挙に主の導きを。

・ブラジリア教会：コロナ感染の減少に伴って、今後の活動がふさわしく導かれるように。安井主任牧師、弘子夫人の祝福。貧困地区（エストルトラウ）で開拓伝道中のクラウデミール牧師家族の祝福。

・浜田ファミリー：再転校した子どもたちは学校に適応し友だちも与えられ感謝です。長男の受験結果はまだ出ていませんが、主の最善に導かれるように。逼迫する家計が支えられるように。宣教師指定献金350万円が満たされるように。

2022年3月28日 浜田 献、陽子

### 「浜田宣教師指定」献金の感謝とご報告

(1-2月) 指定献金: 330,500 円

\*現地支援: 97,920 円 合計: 428,420 円

2022年目標額: 350万円（現地支援を含む）

(\*現地支援：主に日本語教師の謝儀、説教奉仕謝礼など)

\*尊いご献金をささげてくださいましたお一人ひとりに心から感謝申し上げます。主の祝福を祈ります。

\*オンライン宣教報告（説教、宣教の証し等）を

礼拝や祈祷会でのご奉仕を随時承っておりますので、お気軽にお問い合わせください、お招きください。

kenyokomario@yahoo.co.jp